

近畿厚生局長 殿

開設者名

公立大学法人奈良県立医科  
理事長 吉岡

印

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	77人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	485人	36.8人	521.8人	看護補助者	89人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	27人	5.2人	32.2人	理学療法士	7人	臨床検査技師	70人
薬剤師	50人	4.3人	54.3人	作業療法士	4人	臨床衛生検査技師	1人
保健師	0人	0.0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	36人	0.8人	36.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	1人
看護師	817人	22.3人	839.3人	臨床工学技士	24人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	9人	1.0人	10.0人	栄養士	0人	その他の技術員	12人
歯科衛生士	2人	0.0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	248人
管理栄養士	9人	0.0人	9.0人	診療放射線技師	48人	その他の職員	0人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	738.5人	17.3人	755.8人
1日当たり平均外来患者数	1,951.8人	103.4人	2,055.2人
1日当たり平均調剤数			3,729.90剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

23.10-5  
1005-44

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腫瘍性病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	0人
骨腫瘍のCTガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
 第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	腹腔鏡補助下腓体尾部切除手術又は核出術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腹腔鏡補助下に腓体尾部切除を行う			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	32人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	47人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	56人	・原発性胆汁性肝硬変	67人
・全身性エリテマトーデス	203人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	13人	・特発性大腿骨頭壊死症	75人
・再生不良性貧血	37人	・混合性結合組織病	26人
・サルコイドーシス	57人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・特発性間質性肺炎	20人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	161人	・網膜色素変性症	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	59人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	47人	・肺動脈性肺高血圧症	11人
・潰瘍性大腸炎	190人	・神経線維腫症	17人
・大動脈炎症候群	21人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	41人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	23人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	65人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	55人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	276人	・球脊髄性筋委縮症	4人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	50人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	44人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェグナー肉芽腫症	4人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	87人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線糸体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	39人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	75人

1,669人

363人

2,032人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんセンチネルリンパ節加算2	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・眼底三次元画像解析	・
・超音波骨折治療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

## 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	概ね週1回
部 検 の 状 況	部検症例数      37例      /      部検率      6.20%

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
スモンに関する調査研究	上野 聡	神経内科	700,000	補委 厚生労働省
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	上野 聡	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働省
MRIを用いた脳卒中発症・再発防止のためのより有効な降圧治療のエビデンスの創出	上野 聡	神経内科	500,000	補委 厚生労働省
自己貪食空胞性ミオパチーの診断基準確立と治療法開発に関する研究	杉江和馬	神経内科	19,500,000	補委 厚生労働省
神経変性疾患におけるDNA修復能の検討と修復促進による治療基盤の確立	上野 聡	神経内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
自己貪食空胞性ミオパチーの臨床病態解析とオートファジー分子機構の解明	杉江和馬	神経内科	1,820,000	補委 文部科学省
臓器受容および組織再生における血管新生機構の包括的解明と新規免疫制御法の開発	中島祥介	消化器・総合外科	2,600,000	補委 文部科学省
膵癌幹細胞を標的とした新たなB i T E抗体の開発	中島祥介	消化器・総合外科	900,000	補委 文部科学省
組織工学を活用した神経堤幹細胞によるヒルシュスプルング病に対する新たな治療戦略	金廣裕道	消化器・総合外科	700,000	補委 文部科学省
血友病根治療法としての異所性生体部分肝移植の可能性	高 濟峯	消化器・総合外科	900,000	補委 文部科学省
消化器癌における獲得免疫機構の解明と外科との融合を目指した新規癌治療戦略の開発	庄 雅之	消化器・総合外科	1,000,000	補委 文部科学省
微小重力環境を用いた多能性幹細胞の腸管神経分化誘導による新しい幹細胞移植法の開発	植田 剛	消化器・総合外科	700,000	補委 文部科学省
委託業務『PCA-1 siRNAの膵癌に対する抗腫瘍作用機序解析』	中島祥介	消化器・総合外科	2,272,500	補委 医薬基盤研究所
三次元培養心筋組織の作成：伸展刺激による細胞の配行と成熟、収縮力の増強	谷口繁樹	胸部・心臓血管外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
幅広い応用力を秘めた三次元培養心筋組織作成の試み	内藤 洋	胸部・心臓血管外科	1,820,000	補委 文部科学省
生体位駆出心における心筋クロスブリッジ動態解析—放射光X線回折法による心不全評価	田村大和	胸部・心臓血管外科	1,950,000	補委 文部科学省
三次元構築を持つ組織再生を目指したコラーゲンゲル内における間葉系幹細胞の分化誘導	河合紀和	胸部・心臓血管外科	780,000	補委 文部科学省
再生医療技術を用いた同種骨移植の再活性化に関する研究	田中康仁	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省
骨軟部腫瘍における腫瘍幹細胞の単離と新たな分子標的療法の試み	朴木寛弥	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省

小計  
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨髄間葉系細胞を用いた血管柄付き自家骨置換型人工骨の開発	村田景一	整形外科	2,340,000	補委 文部科学省
ウエルナー症候群の病態把握、診療指針作成と新規治療法の開発を目的とした全国研究	田中康仁	整形外科	1,500,000	補委 厚生労働省
精神障害者喫煙禁煙対策総合研究事業	岸本年史	精神科	8,000,000	補委 厚生労働省
自殺対策のための戦略研究	岸本年史	精神科	700,000	補委 厚生労働省
統合失調症の未治療期間とその予後に関する疫学的研究	岸本年史	精神科	1,500,000	補委 厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	岸本年史	精神科	600,000	補委 厚生労働省
20委-6児童思春期強迫性障害(OCD)診断・治療ガイドラインの検証及び拡充に関する研究	飯田順三	精神科	600,000	補委 厚生労働省
20委-5精神科医療における発達精神医学的支援に関する研究	飯田順三	精神科	400,000	補委 厚生労働省
トウレット症候群の治療や支援の実態の把握と普及啓発に関する研究	飯田順三	精神科	500,000	補委 厚生労働省
21指127注意欠陥・多動性障害-ADHD-の客観的指標に基づく診断・治療指針の作成に関する研究	飯田順三	精神科	600,000	補委 (独)国立国際医療センター
児童青年精神科領域における診断・治療の標準化に関する研究(H22-精神一般-004)	飯田順三	精神科	1,200,000	補委 厚生労働省
統合失調症患者におけるニューレグリン1機能の多角的解析	岸本年史	精神科	1,040,000	補委 日本学術振興会
統合失調症モデルラットにおけるフォスファチジルイノシトール系の関与について	法山良信	精神科	1,560,000	補委 日本学術振興会
未分化増殖細胞が摂食行動と体重に与える影響の解析	井上雄一郎	精神科	2,470,000	補委 日本学術振興会
主観的認知障害(SCI)を対象としたアルツハイマー病の早期診断に関する研究	木内邦明	精神科	1,430,000	補委 日本学術振興会
統合失調症初発エピソードの認知機能障害の経過と認知機能リハビリテーションの効果	松田康裕	精神科	1,040,000	補委 日本学術振興会
奈良県自殺対策にかかわる高度人材育成事業	岸本年史	精神科	6,805,000	補委 奈良県
ヒト疾患特異的人工多能性幹細胞を用いた化学物質リスク評価系の確立	深見伸一	精神科	2,500,000	補委 住友財団



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
客観的指標を用いた統合失調症と広汎性発達障害の鑑別	太田豊作	精神科	2,000,000	補委 阪本精神病理学研究所
悪性黒色腫の転移におけるコネキシン26の役割の研究と転移阻害薬の開発	浅田秀夫	皮膚科、形成外科	910,000	補委 日本学術振興会
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	浅田秀夫	皮膚科、形成外科	2,000,000	補委 厚生労働省
帯状疱疹ワクチン開発のための疫学研究	浅田秀夫	皮膚科、形成外科	2,000,000	補委 厚生労働省
画期的経皮免疫製剤の開発と実用化に資する研究の総合的推進	浅田秀夫	皮膚科、形成外科	10,000,000	補委 医薬基盤研究所
肥厚性皮膚骨膜炎における遺伝子診断と生化学的検査を踏まえた新しい病型分類の提言と既存治療法の再評価に関する研究	桑原理充	皮膚科、形成外科	1,000,000	補委 厚生労働省
睡眠障害は夜間頻尿の原因になるか？：簡易脳波睡眠診断を用いた検討	平尾佳彦	泌尿器科	1,950,000	補委 文部科学省
光学的診断を用いた尿中剥離腫瘍細胞の遺伝子変異解析システムの開発	藤本清秀	泌尿器科	1,170,000	補委 文部科学省
新規ガンマラクトン化合物とサイトカインにより誘導される腎固有の修復再生機構の解明	石橋道男	泌尿器科	1,040,000	補委 文部科学省
SERCA2a遺伝子が排尿機能に及ぼす影響	鳥本一匡	泌尿器科	1,040,000	補委 文部科学省
光力学診断を用いた尿中前立腺癌細胞の検出	穴井 智	泌尿器科	1,950,000	補委 文部科学省
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	藤本清秀	泌尿器科	1,300,000	補委 文部科学省
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	穴井 智	泌尿器科	500,000	補委 文部科学省
「ユビキタス生体計測祖ヘルスケアデバイス・システムの開発」のうち「泌尿器計測モジュールの開発」	平尾佳彦	泌尿器科	18,783,919	補委 関西文化学術研究都市推進機構
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療の確立に関する研究	平尾佳彦	泌尿器科	500,000	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道鉍膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	平尾佳彦	泌尿器科	250,000	補委 厚生労働省
がん診療ガイドラインの適用と評価に関する研究	平尾佳彦	泌尿器科	300,000	補委 厚生労働省
早期前立腺がん根治術後の再発に対する放射線照射と内分分泌療法に関するランダム化比較試験	平尾佳彦	泌尿器科	150,000	補委 厚生労働省
早期前立腺がん根治術後の再発に対する放射線照射と内分分泌療法に関するランダム化比較試験	平尾佳彦	泌尿器科	150,000	補委 厚生労働省

小計

19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新しい音伝導ルートによる新補聴システムの開発—既存の気導補聴器が使用できない難聴者（耳漏のある耳、外耳道閉鎖症など）も使用可能な補聴器の開発—（H20-感覚—般-002）	細井裕司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	10,000,000	補委 厚生労働省
音情景分解に基づく音メディア・ユニバーサル・コミュニケーション・システムの研究開発	細井裕司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補委 総務省
超音波聴覚のメカニズムと最重度難聴者のための超音波補聴システムの実用化研究	細井裕司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	9,490,000	補委 文部科学省
最重度平衡障害に対する感覚代行治療—実用化に向けた効果メカニズムの解明—	山中敏彰	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,080,000	補委 文部科学省
頭頸部がんにおけるmTOR阻害薬による放射線増感効果の基礎的研究	太田一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,170,000	補委 文部科学省
骨導超音波を用いた補聴器システムの評価と臨床導入	西村忠己	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補委 文部科学省
聴・平衡覚と住居環境に関する研究	細井裕司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	5,400,000	補委 住居医学
軟骨導補聴の音伝導ルート解明に関する研究	細井裕司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	500,000	補委 奈良県
アルツハイマー病での辺縁系回路の拡散テンソル異常—臨床症状・予後との関連—	田岡俊昭	中央放射線部	910,000	補委 文部科学省
21特指-1進行がんに対するi.v.r治療の基礎的臨床的研究	穴井 洋	放射線医学教室	1,000,000	補委 国立がん研究センター研究開発費
43 経皮的ラジオ波熱凝固法を用いた悪性腫瘍の治療に関する研究	穴井 洋	放射線医学教室	1,000,000	補委 国立がん研究センター研究開発費
モバイル端末を用いた画像誘導放射線治療（IGRT）時代の遠隔放射線治療支援方法の確立	玉本哲郎	放射線治療・核医学科	2,080,000	補委 日本学術振興会
画像誘導放射線治療および適応放射線治療における機能画像応用の検討	浅川勇雄	放射線治療・核医学科	2,340,000	補委 日本学術振興会
口腔がんにおける重粒子線照射によるp53非依存アポトーシスのメカニズムの解明	桐田忠昭	口腔外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
マイクロRNAを標的とした新たな口腔癌の化学予防法の開発	山本一彦	口腔外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
関節滑膜細胞におよぼす伸展ストレスの影響：酸化ストレスと遺伝子発現の誘導	川上哲司	口腔外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
顔面骨格の形態パターンニングを制御する分子機構	川上正良	口腔外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
インプラント埋入直後および骨結合後の周囲骨のリモデリングに動的荷重が与える影響	杉浦 勉	口腔外科	260,000	補委 日本学術振興会
フッ化ピリミジン系抗がん剤による味覚障害の発生機序解明と治療法の開発	青木久美子	口腔外科	1,690,000	補委 日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

小計  
0

小計  
0

計  
75

*ok*

- (注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Medical case reports	Salvage living donor liver transplantation after percutaneous transumbilical angioplasty for recurrent Budd-chiari syndrome: a case report, 2011	Yusaku Shirai et. al	第3内科
Clin Neuropharmacol. (2011年)	Dropped head associated with amantadine in Parkinson disease.	Kataoka H	神経内科
Neuroimaging (2011年)	Serial neuroimaging in Tolosa-Hunt syndrome with acute bilateral complete ophthalmoplegia. J	Sugie K	神経内科
J Neurovirol. (2010年)	Negative association of Epstein-Barr virus or herpes simplex virus-1 with tumefactive central nervous system inflammatory demyelinating disease.	Kiriyama T	神経内科
J Neurooncol. (2010年)	Biphasic paraneoplastic brainstem encephalitis associated with anti-Ri antibody.	Kin T	神経内科
Eur J Neurol. (2010年)	Flail arm syndrome with motor neuron disease rapidly progressing to respiratory failure: a case series and clinical analysis.	Kataoka H	神経内科
Nucleic Acid Res (2010年)	Quantitative detection of 8-hydroxydeoxyguanosine-DNA adducts in mammalian cells using an immunoassay with a novel monoclonal antibody.	Okahashi Y	神経内科
Cogn Behav Neurol. (2010年)	Compulsive singing associated with a dopamine agonist in Parkinson disease.	Kataoka H	神経内科
Mov Disord (2010年)	Background scenery visual hallucinations in a depressed patient with Parkinson's disease.	Kataoka H	神経内科
Hepato-Gastroenterology	ADAMTS13 Activity Decreases after He	E. Okano	消化器・総合外科
Langenbecks Arch Surg	Adult hepatoblastoma successfully treated with multimodal treatment	S. Nakamura	消化器・総合外科
分子細胞治療フロンティア2010	人工多能性幹 (iPS) 細胞から蠕動運動する人工腸管 (iGut) への臓器分化誘導と再生医療への展望	植田 剛	消化器・総合外科
分子細胞治療フロンティア2010	肝ティッシュエンジニアリングへのアプローチ —腎被膜下肝組織作製法とシート工学を用いた皮下肝組織作製法—	小山文一	消化器・総合外科
臨床外科	【大腸癌に対するESD】奈良県立医科大学附属病院での「外科の対応」消化器外科医が施行するESD	中島祥介	消化器・総合外科
Surgery Today	Malignant Potential of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas	Y. Nakajima	消化器・総合外科
感染・炎症・免疫	ips細胞から蠕動運動する腸管の作成	植田 剛	消化器・総合外科
大腸癌 FRONTIER (Frontiers in Colorectal Cancer)	腸管再生医療の現状と展望 —iPS細胞からの腸管再生—	植田 剛	消化器・総合外科
Kidney International	Direct targeting of fibroblast growth	Y. Nakajima	消化器・総合外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE	Therapeutic potential of the TWEAK/F	R. Yoriki	消化器・総合外科
Endoscopy	Endoscopic resection of an anal gland cyst	K. Uchimoto	消化器・総合外科
Interactive Cardio Vascular and Thoracic Surgery (2010)	Effects of simple intraoperative intrathoracic hyperthermotherapy for lung cancer with malignant pleural effusion or dissemination	Michitaka Kimura	胸部・心臓血管外科
Japanese Journal of Clinical Oncology (2010)	Clinical Significance of Prostate Stem Cell Antigen Expression in Non-small Cell Lung Cancer	Takeshi kawaguchi	胸部・心臓血管外科
Am J Physiol Heart Circ Physiol (2010)	A cardioprotective agent of a novel calpain inhibitor, SNJ-1945, exerts $\beta_1$ actions on left ventricular mechanical work and energetics	Yoshiro Yoshikawa	胸部・心臓血管外科
Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine	Scaffold-free cell sheet injection results in bone formation	Akahane M	整形外科
Rare Tumors	Hibernoma of the axillary region. A rare benign adipocytic tumor	Honoki K	整形外科
Techniques in Knee Surgery	Cartilage Regeneration of Knee OA After High Tibial Osteotomy	Okahashi K	整形外科
Eur Spine J	Degenerative spondylolisthesis does not influence surgical results of laminoplasty in elderly cervical spondylotic myelopathy patients	Shigematsu H	整形外科
KOncol Rep	Possible involvement of stem-like populations with elevated ALDH1 in sarcomas for chemotherapeutic drug resistance	Honoki	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg	Popliteal soft tissue tumor associated with hamstring injury	Tohma Y	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg	Comparative survey of pain-alleviating effects between ultrasound-guided injection and blind injection of lidocaine alone in patients with painful shoulder	Hashiuchi T	整形外科
J Bone Joint Surg Am	Total talar replacement following collapse of the talar body as a complication of total ankle arthroplasty: a case report	Tsukamoto S	整形外科
Int J Stem Cell	Cell sheet injection as a technique of osteogenic supply	M Akahane	整形外科
Bone	Cell sheet transplantation of cultured mesenchymal stem cells enhances bone formation in a rat nonunion model	Nakamura A	整形外科
Operative Techniques in Orthopaedic Surgery	Supramalleolar osteotomy with internal fixation	Tanaka Y	整形外科
Operative Techniques in Orthopaedic Surgery	TNK total ankle arthroplasty	Tanaka Y	整形外科
骨折	TEIC含有リン酸カルシウムペーストを用いた化膿性骨髄炎の治療 基礎研究と臨床から	重松浩司	整形外科
日本手外科学会雑誌	分泌オステオカルシンを指標とした培養人工骨の選択	清水隆昌	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arthritis 運動器疾患と炎症	リウマチ性足部・足関節障害に対する、鏡視下滑膜切除術	田中康仁	整形外科
Experimental Approaches to Diabetic Retinopathy (2010年)	Balance between Pigment Epithelium-Derived Factor and Vascular Endothelial Growth Factor.	Nahoko Ogata	眼科
Journal of Cataract Refractive Surgery (2010年)	Relationship between postoperative refractive outcomes and cataract density: multiple regression analysis.	Tetsuo Ueda	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	仔牛硝子体のin vitroにおける体積相転移とそのダイナミクス	松浦豊明	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	豚硝子体の相挙動に対する塩効果の研究	松浦豊明	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	スポーツ選手におけるソフトコンタクトレンズを用いて作成したLASIK術後状態における動体視力の影響	竹谷 太	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	明所視力が良好な視神経炎患者の夜間視力について	湯川英一	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	視神経圧迫病変における多局所視覚誘発電位	湯川英一	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	散瞳における横方向動体視力(dynamic visual acuity)と縦方向動体視力(kinetic visual acuity)の変化	上田哲生	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	若年者における屈折誤差の評価 両眼雲霧による低矯正下自覚検査と調節麻痺剤を用いた他覚検査	上田哲生	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	トライイリスを用いた偽調節の解析	西 智	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	全身麻酔手術中の眼血流の検討	岡本全弘	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	奈良県立医科大学附属病院における急性原発閉塞隅角症に対する治療	峯 正志	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	インフリキシマブを投与したBehcet病の長期予後	小林武史	眼科
眼科臨床紀要 (2010年)	乳幼児の眼底撮影の検討	下山季美恵	眼科
Blood Coagulation and Fibrinolysis	Plasmin-induced procoagulant effects in the blood coagulation: a crucial role of coagulation factors V and VIII	Ogiwara K, et al.	小児科
Journal of Investigational Allergology and Clinical Immunology	Altered immunoglobulin A and M levels associated with changes in BAFF and APRIL after administration of intravenous immunoglobulin to treat Kawasaki disease	Doi M, Shima M, et al.	小児科
Journal of Thrombosis and Haemostasis	Mechanisms of factor VIIa-catalyzed activation of factor VIII	Nogami K, et al.	小児科
Pediatrics International	Type D congenital esophageal atresia associated with omphalomesenteric duct remnant	Nishikubo T, et al.	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Thrombosis and Haemostasis	Characterization of an antibody specific for coagulation factor VIII that enhances factor VIII activity	Nogami K, et al.	小児科
Thrombosis and Haemostasis	Determination of a factor VIII-interactive region within plasmin responsible for plasmin-catalysed activation and inactivation of factor VIII(a).	Nishiya K, et al.	小児科
日本環境感染学会誌	当院小児科病棟における重症新生児結核の感染管理	西屋克己, et al.	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌	当院における超低出生体重児の晩期循環不全の検討	釜本 智之, et al.	小児科
臨床血液	後天性凝固異常症の病態と治療：後天性血友病を中心に	嶋 緑倫	小児科
臨床検査	【遺伝子検査の最近の展開 ヒトゲノム多様性と医療応用】 出血凝固系疾患の遺伝子検査	柴田 優	小児科
Psychogeriatrics. 10(1):15-20, 2010	Uncinate fasciculus-correlated cognition in Alzheimer's disease: a diffusion tensor imaging study by tractography.	森川将行	精神科
Neurochemistry International 57:565-571, 2010	Olanzapine increases cell mitotic activity and oligodendrocyte-lineage cells in the	山内崇平	精神科
Psychiatry and Clinical Neurosciences 64(5): 491-498, 2010	Effects of osmotic-release methylphenidate in attention-deficit/hyperactivity disorder as measured by event-related potentials	澤田将幸	精神科
Psychogeriatrics 10(3), 160-166, 2010	Tai Chi exercise versus rehabilitation for the elderly with cerebral vascular disorder: a single-blinded randomized controlled trial.	王 文超	精神科
臨床精神医学 39(9): 1179-1185, 2010	措置入院を契機に診断および告知に至った強迫性障害を伴うアスペルガー症候群の成人例	澤田将幸	精神科
堺市こころの健康センター研究紀要 3:22-25, 2011	精神病症状顕在化により支援を中断した症例からみる、医師による支援継続の必要性—広汎性発達障がい診断閾値以下であった2症例の検討	小坂 淳	精神科
British Journal of Psychiatry, published online on 15th October, 2010	Improvement of blonanserin-induced hyperprolactinemia by additional aripiprazole.	松田康裕	精神科
Biochem Biophys Res Commun (2011年)	Repair pathways independent of the Fanconi anemia nuclear core complex play a predominant role in mitigating formaldehyde-induced DNA damage	Noda T	皮膚科 形成外科
Ann Vasc Dis (2010年)	Rare Complication after stripping operation: A Case Report of Mycobacterium Abscessus Infection	Morimoto K	皮膚科 形成外科
Br J Dermatol (2010年)	Pruritic reddish-brown papules and plaques as initial skin lesions in a case of anti-laminin gamma1 pemphigoid without psoriasis	Morimoto K	皮膚科 形成外科
Hum Mutat (2010年)	XPC branch-point sequence mutations disrupt U2 snRNP binding, resulting in abnormal pre-mRNA splicing in xeroderma pigmentosum patients	Khan SG	皮膚科 形成外科
日本レーザー医学会誌	膀胱癌における 5-aminolevulinic acid を用いた蛍光膀胱鏡下経尿道的腫瘍切除術および尿中剥離細胞に対する光学的診断	藤本清秀	泌尿器科
Int J Urol	Cancer death from non-muscle invasive bladder cancer: report of the Japanese Urological Association of data from the 1999-2001 registry in Japan	Okajima E	泌尿器科

小計

19



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brachytherapy	Variations in health-related quality of life in Japanese men who underwent iodine-125 permanent brachytherapy for localized prostate cancer	Tanaka N	泌尿器科
腎泌尿防医誌	前立腺直腸診後尿における5-ALAによる光学的診断のがんマーカーとしての有用性	穴井 智	泌尿器科
泌尿器外科	High-grade T1膀胱癌におけるsecond TURおよびBCG膀胱内注入療法の意義	桑田真臣	泌尿器科
Jpn J Endourol	膀胱癌の光学的診断—蛍光尿細胞診の有用性—	藤本清秀	泌尿器科
Int J Clin Oncol	Risk-stratified survival rates and predictors of biochemical recurrence after radical prostatectomy in a Nara, Japan, cohort study	Tanaka N	泌尿器科
Neuroscience (2010年)	Distribution of optokinetic sensitivity across the retina of mice in relation to eye orientation	Shimizu Naoki	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Archives of Materials Science and Engineering (2010年)	Development of cartilage conduction hearing aid	Hosoi Hiroshi	耳鼻咽喉・頭頸部外科
耳鼻免疫アレルギー (2010年)	SnailによるMT-1MMPおよびMT2-MMPの癌浸潤・転移能の制御	太田一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科
頭頸部癌 (2010年)	癌幹細胞と浸潤・転移	太田一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科
耳鼻免疫アレルギー (2010年)	SnailによるMT1-MMPおよびMT2-MMP依存性の癌浸潤・転移の制御	太田一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科
耳喉頭頸 (2010年)	内直筋麻痺を生じた原発性蝶形骨洞嚢胞例	成尾一彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科
日鼻誌 (2010年)	視器症状を呈した副鼻腔嚢胞の臨床的検討	成尾一彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科
頭頸部外科 (2010年)	局所麻酔下に施行した気管切開術の検討	成尾一彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Equilibrium Res (2010年)	水平(外側)半規管型BPPVクプラ結石症に対する新規治療法—側方頭部傾斜・跳躍運動によるクプラ結石遊離の試み—	山中敏彰	耳鼻咽喉・頭頸部外科
頭頸部癌 (2010年)	明日の診療に役立つ頭頸部癌の基礎研究: 分子標的治療: 癌幹細胞と浸潤・転移	太田一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科
日本臨床I (2011)	大動脈瘤に対する血管内治療	吉川公彦	放射線科
Abdominal ImagingI (2011)	Retained placental tissue: role of MRI findings in diagnosis and clinical assessment	J Takahama	放射線科
Neuroradiology (2010)	Magnetic resonance plaque imaging to predict the occurrence of the slow-flow phenomenon in carotid artery stenting procedures	M Sakamoto	放射線科
Korean J Radiol (2010)	Cellular density evaluation for malignant lymphoma using equivalent cross-relaxation rate imaging—initial experience	H Nishiofuku	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
CVIR(2010)	Optimization of direct current-enhanced radiofrequency ablation : An Ex vivo study	T Tanaka	放射線科
Skeletal Radiol(2010)	Hepatocellular carcinoma of the iliac bone with unknown primary	J Takahama	放射線科
Neuroradiology(2010)	Brain surface motion imaging to predict adhesions between meningiomas and the brain surface	T Taoka	中央放射線部
Clinical Colorectal Cancer(2010)	Hepatic arterial infusion of 5-fluorouracil for patients with liver metastases from colorectal cancer refractory to standard systemic motherapy : a multicenter ,retrospective analysis	H Nishiofuku	放射線科
癌と化学療法(2010)	Von Hippel-Lindau病に発生した腎細胞癌術後片腎再発に対してラジオ派凝固療法を施行した1例-適応と手上的工夫について-	穴井 洋	放射線科
Vascular Lab(2010)	Dual Energy CTを用いた肺循環血液量画像	三浦幸子	放射線科
IVR会誌(2010)	塞栓物質のすべて コイル	中川裕之	放射線科
Neurovascular Imaging(2010)	Imaging and tissue characterization of atherosclerotic carotid plaque using MR imaging	T Taoka	中央放射線部
日本歯科麻酔学会雑誌(2010年)	口腔顎顔面領域における血管柄付き遊離(骨)皮弁による即時再建症例の術前状態, 周術期管理と術後合併症についての臨床的検討	松末友美子	口腔外科
Arch Oral Biol(2010年)	Hard tissue-forming potential of stem/progenitor cells in human dental follicle and dental papilla	T Yagyuu,	口腔外科
日本口腔科学会雑誌(2010年)	舌疼痛を伴った口腔ガンジダ症に対するイトラコナゾール内用液の臨床的検討	玉置盛浩	口腔外科
J Biochem(2010年)	Mechanical stretch enhances NF- $\kappa$ B-dependent gene expression and poly(ADP-ribose) synthesis in synovial cells	T Morisugi	口腔外科
J Oral Maxillofac Surg(2010年)	Maxillofacial Fractures Resulting From Falls	K Yamamoto	口腔外科
Dent Traumatol(2010年)	Fate of developing tooth buds located in relation to mandibular fractures in three infancy cases	K Yamamoto	口腔外科
Dent Traumatol(2010年)	Orthodontic rehabilitation for anterior teeth lost due to trauma with crowding malocclusion	M Kawakami	口腔外科
日本口腔科学会雑誌(2010年)	救急蘇生時にデンタルチェア上で行う胸骨圧迫の有効性の検討	堀田 聡	口腔外科
臨床バイオメカニクス(2010年)	歯科インプラントの形状および骨密度が周囲骨の応力分布に及ぼす影響	杉浦 勉	口腔外科
臨床バイオメカニクス(2010年)	下顎骨辺縁切除後の骨折予防に関する生体力学的検討	村上和宏	口腔外科
Anticancer Res(2010年)	Soluble MICB Serum Levels Correlate with Disease Stage and Survival Rate in Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma	S Tamaki	口腔外科

小計

19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Plast Reconstr Anesth Surg (2010年)	Mandibular reconstruction with vascularised fibular osteocutaneous flaps using prefabricated stereolithographic mandibular model	Y Yamanaka	口腔外科
J Cranio-Maxillofac Surg (2011年)	Maxillofacial fractures due to work-related accidents	K Yamamoto	口腔外科
Blood (2010年)	ADAMTS13 gene deletion aggravates ischemic brain damage : a possible neuroprotective role of ADAMTS13 by ameliorating post-ischemic hypoperfusion.	M Fujioka	救急科
血栓止血学会誌 (2010年)	ADAMTS13の脳梗塞治療薬としての可能性	西尾 健治	救急科
呼吸器疾患最新の治療 (2010)	起炎菌不明の市中肺炎	前田 光一	感染症センター
日本臨床 (2010)	免疫再構築症候群への対応	古西 満	感染症センター
Japanese Society of Chemotherapy (2010)	Respiratory infections Roles of anaerobic bacteria in morbid conditions of respiratory infections	Keiichi Mikasa	感染症センター
日本呼吸器学会雑誌 (2010)	成人肺トキソカラ症8例の臨床的検討	三笠 桂一	感染症センター
Microbial Pathogenesis (2010)	Enhanced expression of ATP-binding cassette transporter A1 in non-rafts decreases the sensitivity of vascular endothelial cells to Shiga toxin	Keiichi Mikasa	感染症センター
INTERNAL MEDICINE (2010)	Purulent Pericarditis due to Streptococcus pneumoniae Diagnosed by Pneumococcal Urinary Antigen Assay and 16S rDNA Sequence of the Pericardial Fluid	chiyo Nakagawa	感染症センター
Reprinted from Annals of Vascular Diseases (2010)	Rare Complication after Stripping Operation: A Case Report of Mycobacterium Abscessus Infection	chiyo Nakagawa	感染症センター
Clinical Parasitology (2010)	2009年に経験した日本海裂頭条虫症の5例	笠原 敬	感染症センター
化学療法の領域 (2010)	急性感染症に対するマクロライドの新たな展開	笠原 敬	感染症センター
診療と新薬 (2010)	マクロライド長期治療のあゆみと新たな可能性	三笠 桂一	感染症センター
Adv Exp Med Biol	Mouse models of apnea: strain differences in apnea expression and its pharmacologic and genetic modification.	Kimura H	呼吸器・血液内科
Japan Medical Association Journal	Current Situations and Issues in Respiratory Medicine in Japan.	Kimura H	呼吸器・血液内科
日本呼吸器学会雑誌	成人肺トキソカラ症8例の臨床的検討	木村 弘	呼吸器・血液内科
Jpn Med Ultrasonics	胸部領域への超音波法の応用	木村 弘	呼吸器・血液内科
THE LUNG perspectives	睡眠時無呼吸症候群-歴史的展開と研究の最先端-	木村 弘	呼吸器・血液内科



## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 榊 壽右
管理担当者氏名	医療サービス課長 福井 正人、 病院管理課長 峠 春樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録  病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		外来カルテ庫 入院カルテ庫 薬剤部 中央放射線部 電子カルテ	個々の患者の諸記録は、カルテとともに整理し一括保管。  エックス線写真は、中央放射線部で一括保管。  諸記録、エックス線写真とも、あわせて電子カルテにも保存。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課 病院管理課	
	高度の医療の実績	医療サービス課 各診療部	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課 各診療部	
	高度の医療の研修の実績	各診療部	
	閲覧実績	医療サービス課 病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
	項規第一号に掲げる第一項各号の及び第九條の二十三第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		様式13-2のとおり	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		様式13-2のとおり	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		様式13-2のとおり	
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		様式13-2のとおり	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		様式13-2のとおり	
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		様式13-2のとおり	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		様式13-2のとおり	

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び諸記録	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体 制の確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	様式13-2のとおり
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	様式13-2のとおり
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	様式13-2のとおり
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	様式13-2のとおり
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	様式13-2のとおり
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	様式13-2のとおり
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	様式13-2のとおり
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の収 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	様式13-2のとおり
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	様式13-2のとおり
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	様式13-2のとおり
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	様式13-2のとおり
		医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	様式13-2のとおり

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

## ○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 榎 壽右
閲覧担当者氏名	医療サービス課長 福井 正人 病院管理課長 峠 春樹
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課、病院管理課 執務室

## ○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

## ○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	77.4 %	算定期間	平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	18,003人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,296人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,682人	
	D: 初診の患者の数	28,445人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

o/k

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
指針の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
活動の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 13 回
研修の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 ) その他の改善のための方策の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 4 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
所属職員： 専任( 4 )名 兼任( 3 )名 活動の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無



## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
指針の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
活動の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
研修の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容：  別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有) ・ 無 )  ・ 業務の主な内容：  別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無 )  ・ その他の改善のための方策の主な内容：  別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 医療機器を安全に取り扱うための基礎知識（医療ガス・電気設備）(H22.6.23) 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の作成 (有) ・ 無 ) ・ 保守点検の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 別添「安全管理体制の確保状況調書」のとおり	